



# 2018年度第3四半期 決算補足資料

---

2019年1月25日

---

株式会社イーブックイニシアティブジャパン



証券コード：3658

当社グループは、以下2つの事業により構成されています。

## ① 電子書籍事業

### 電子書籍配信

- 自社配信サイト/アプリでの電子書籍販売
- 書籍の電子化受託、電子書籍配信プラットフォームの受託開発、eBook図書券の販売 等

### 電子書籍提供

- パートナー企業の電子書店運営受託、電子書籍配信システム提供、書籍データ提供

## ② クロスメディア事業

- 紙書籍、CD、DVD等のオンライン販売

**1** 第3四半期 業績

**2** 第3四半期 施策・トピックス

**3** 今後の計画

**4** 参考資料

## ■ 年末シーズンの販促強化により、四半期で過去最高の売上高

- ✓ 売上高 35.3億円 (前年同期\*1:31.9億円、前年同期比:+10.6%)
- ✓ 経常利益 1.9億円 (前年同期:0.19億円、前年同期比:+917.3%)

## ■ 好調に推移した3Q実績を受けて、通期業績予想を上方修正

- ✓ 売上高 140億円 (10/26開示:135億円)
- ✓ 経常利益 5.6億円 (同:4.6億円)
- ✓ 当期純利益 1.8億円 (同:1.0億円)

## ■ 「Yahoo!ブックストア」と「ebookjapan」のサービス統合を決定、電子コミック国内No.1に向けた取り組みが加速

- ✓ ヤフーグループ内における電子書籍サービスの重複解消を目的に、2019年春以降に「ebookjapan」へ統合することを決定(12/20)
- ✓ ユーザー移行を円滑に進めるための本棚連携機能をリリース(12/20)

\*1: 当社は、2018年度より非連結決算に移行しました。そのため連結決算である前期との比較分析は、参考としてご覧ください。

# 1 3Q業績 | 第3四半期 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2018年度3Q (単体)	前年同期比*1 (2017年度3Q比) (連結)	前四半期比 (2018年度2Q比) (単体)
<b>売上高</b>	<b>3,537</b>	<b>+10.6%</b>	<b>+3.6%</b>
電子書籍事業	2,432	+23.1%	△1.3%
電子書籍配信	1,832	+17.8%	△1.6%
電子書籍提供	600	+42.8%	△0.2%
クロスメディア事業	1,105	△9.5%	+16.0%
<b>経常利益</b>	<b>199</b>	<b>+917.3%</b>	<b>△16.9%</b>

**売上高は四半期で過去最高、経常利益は前四半期比では減少。**

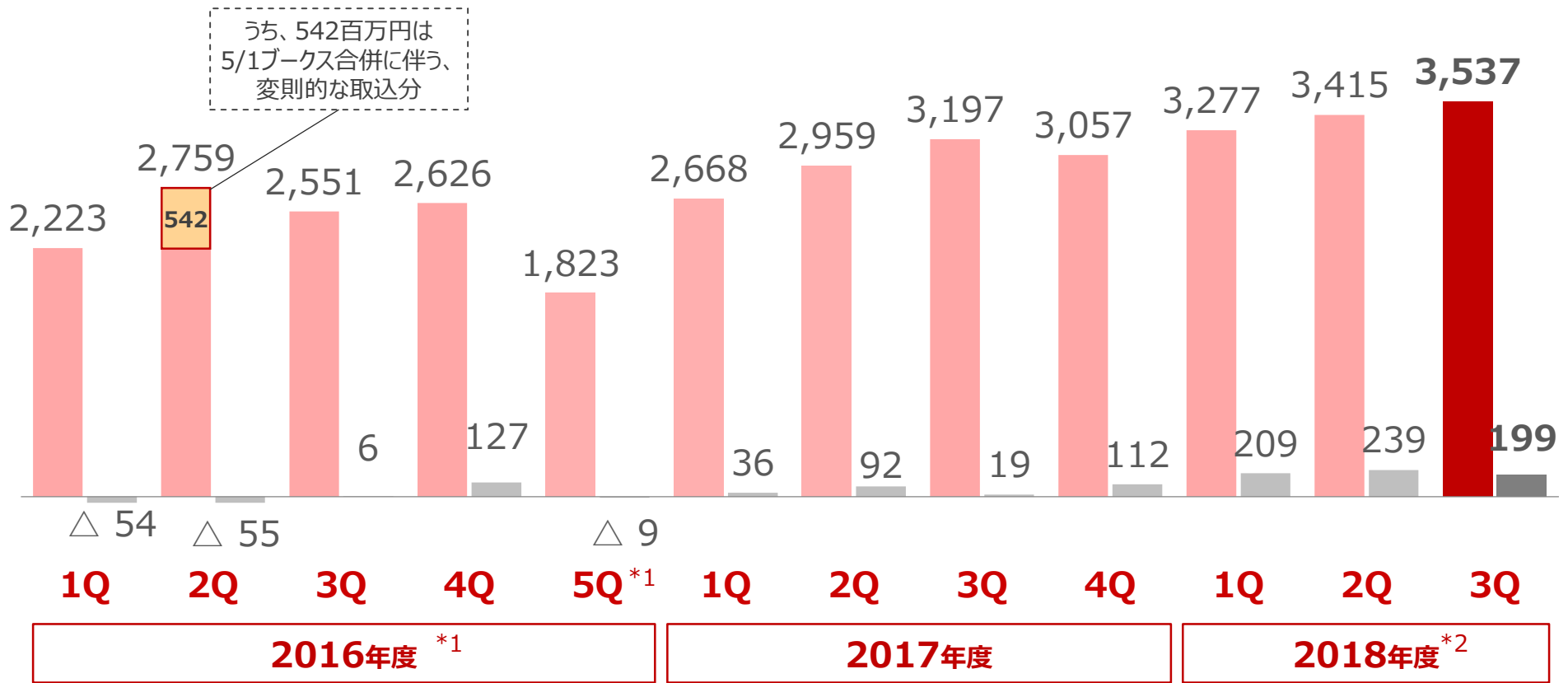
\*1: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、前年度との比較は参考値としてご覧ください。

# 1 3Q業績 | 売上高・経常利益

(単位：百万円)

■ 売上高 ■ 経常利益

売上高は、過去最高を達成。経常利益は、広告宣伝費や本社移転に伴う減価償却費の増加等の影響により前四半期比で減少。



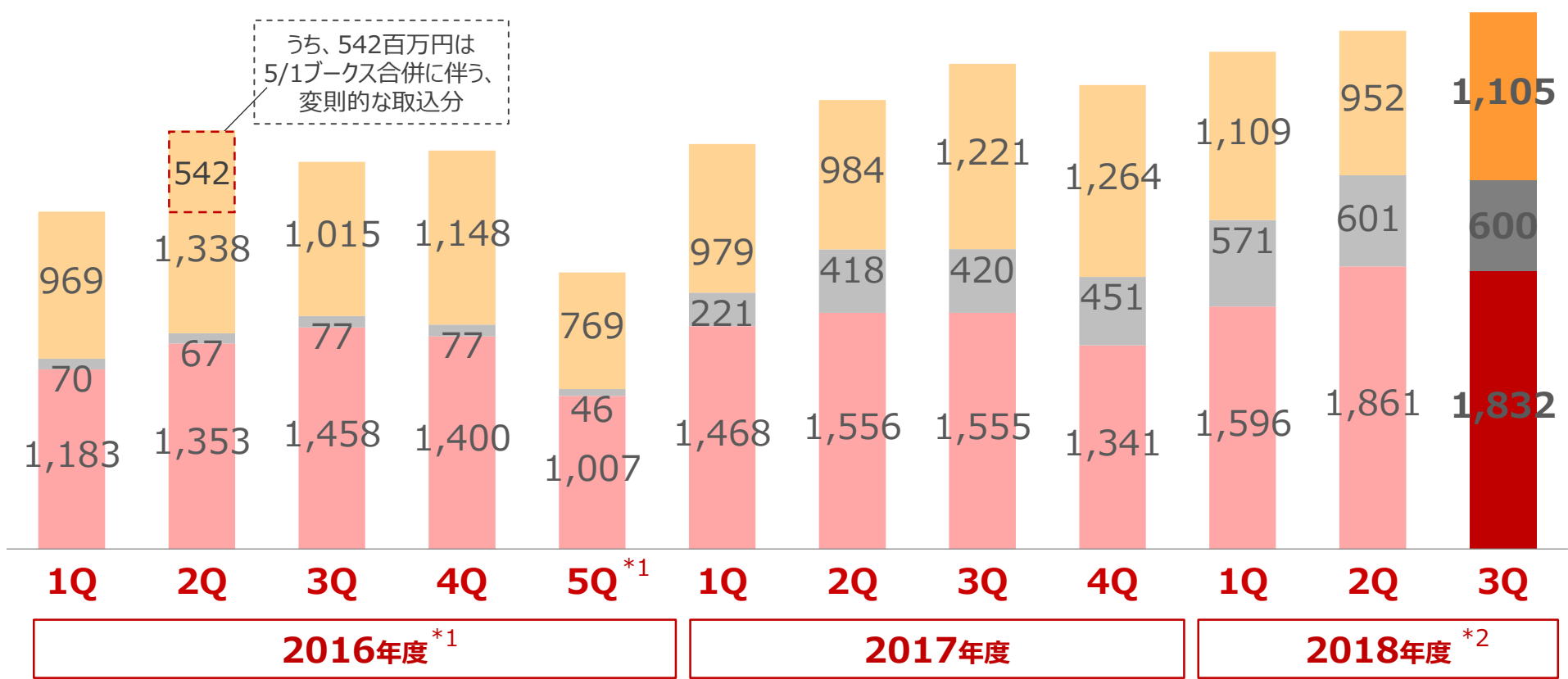
\*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。

\*2: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、2016年度、2017年度は連結、2018年度は単体の数値となります。

(単位：百万円)

■ 電子書籍事業(配信) ■ 電子書籍事業(提供) ■ クロスメディア事業

電子書籍事業は前四半期に比べわずかに減少。  
物流費高騰を受け鈍化傾向だったクロスメディア事業は反転し、売上高10億円を突破。

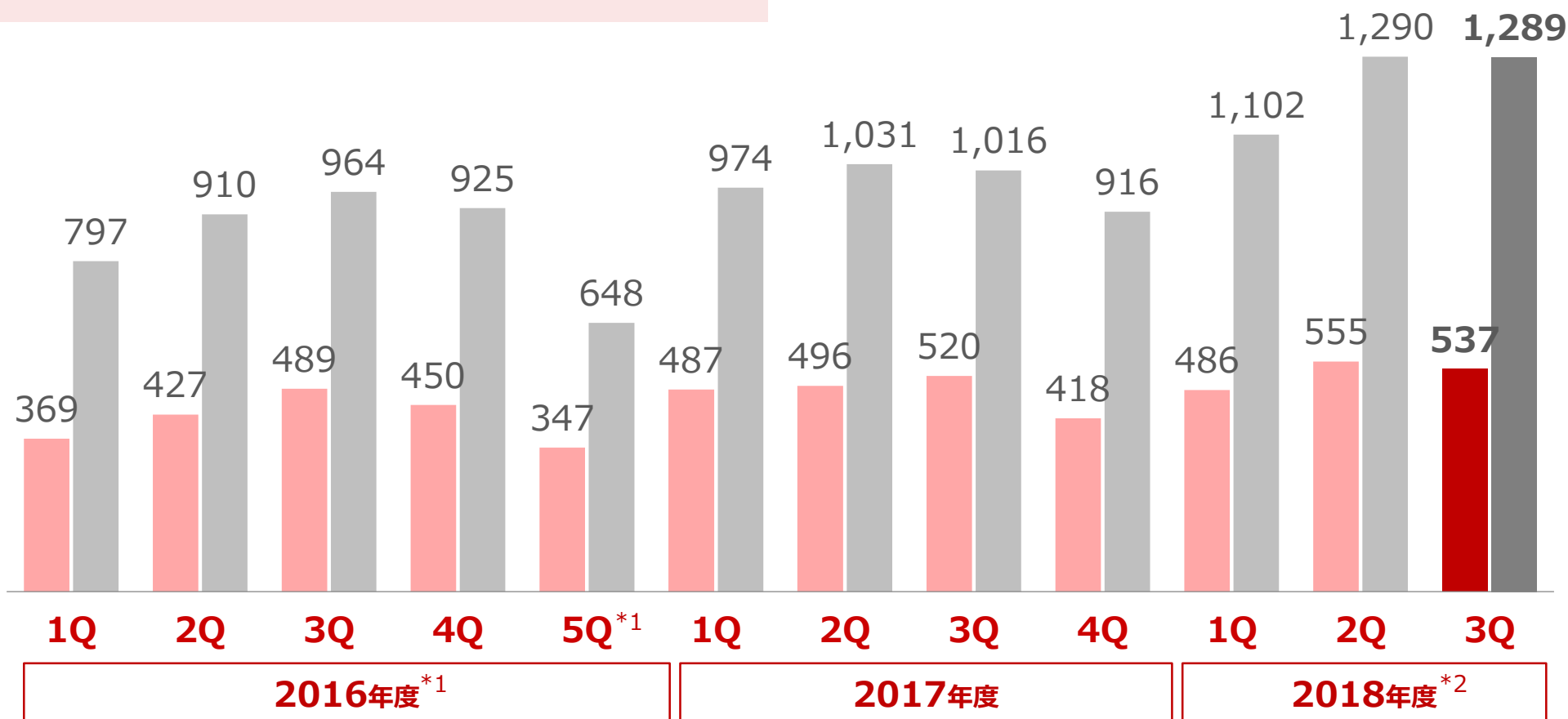


\*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。  
\*2: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、2016年度、2017年度は連結、2018年度は単体の数値となります。

（単位：百万円）

■パソコン ■モバイル（スマートフォン+タブレット）

パソコン・モバイルともに横ばい。



\*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。

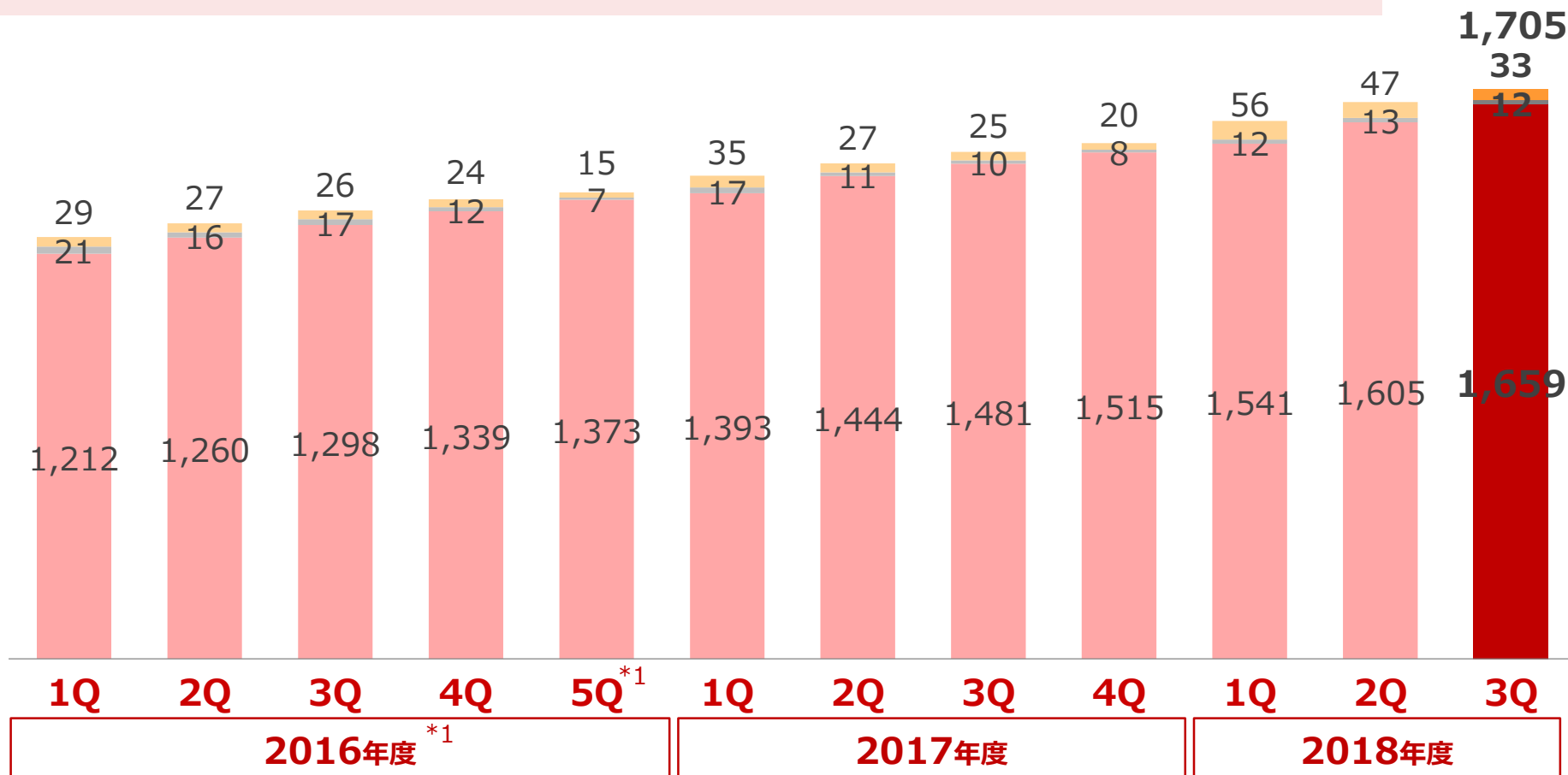
\*2: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、2016年度、2017年度は連結、2018年度は単体の数値となります。



(単位：千人)

■ 既存会員 ■ パソコン新規会員 ■ モバイル新規会員

パソコン、モバイルとも新規会員が増加、現在170万人。



\*1: 2016年度中の決算期変更により、2016年度は2016年2月～2017年3月の14ヵ月。5Qは2017年2月～3月の2ヵ月間。

（単位：百万円）

	2017年度3Q (連結)	2018年度3Q*1 (単体)	増減率	備考
<b>売上高</b>	3,197	<b>3,537</b>	+10.6%	
電子書籍事業	1,975	<b>2,432</b>	+23.1%	好調に推移
クロスメディア事業	1,221	<b>1,105</b>	△9.5%	物流費高騰に伴い前年同期比では減少
<b>売上原価</b>	2,120	<b>2,483</b>	+17.1%	売上高増に伴う増加
著作権使用料	1,071	<b>1,329</b>	+24.1%	売上高増に伴う増加
<b>販売費及び一般管理費</b>	1,054	<b>853</b>	△19.0%	当期より運営費用の一部をヤフーが負担*2
支払手数料	89	<b>99</b>	+11.0%	売上高増に伴い増加
人件費（賞与を除く）	212	<b>141</b>	△33.4%	
広告宣伝費	140	<b>121</b>	△13.1%	
ポイント引当金繰入額	217	<b>137</b>	△36.5%	
<b>営業利益</b>	22	<b>199</b>	+802.9%	
<b>経常利益</b>	19	<b>199</b>	+917.3%	
<b>税引前当期純利益</b>	19	<b>199</b>	+917.3%	
<b>四半期純利益</b>	5	<b>144</b>	+2,772.2%	






\*1: 2018年度より非連結決算に移行したことを受け、前年度との比較は参考値としてご覧ください。

\*2: 電子書籍事業におけるヤフーとの共同運営開始に伴い、運営費用の一部をヤフーが負担(当該負担分を除くと、実質的な人件費は前年同期と同水準)

（単位：百万円）

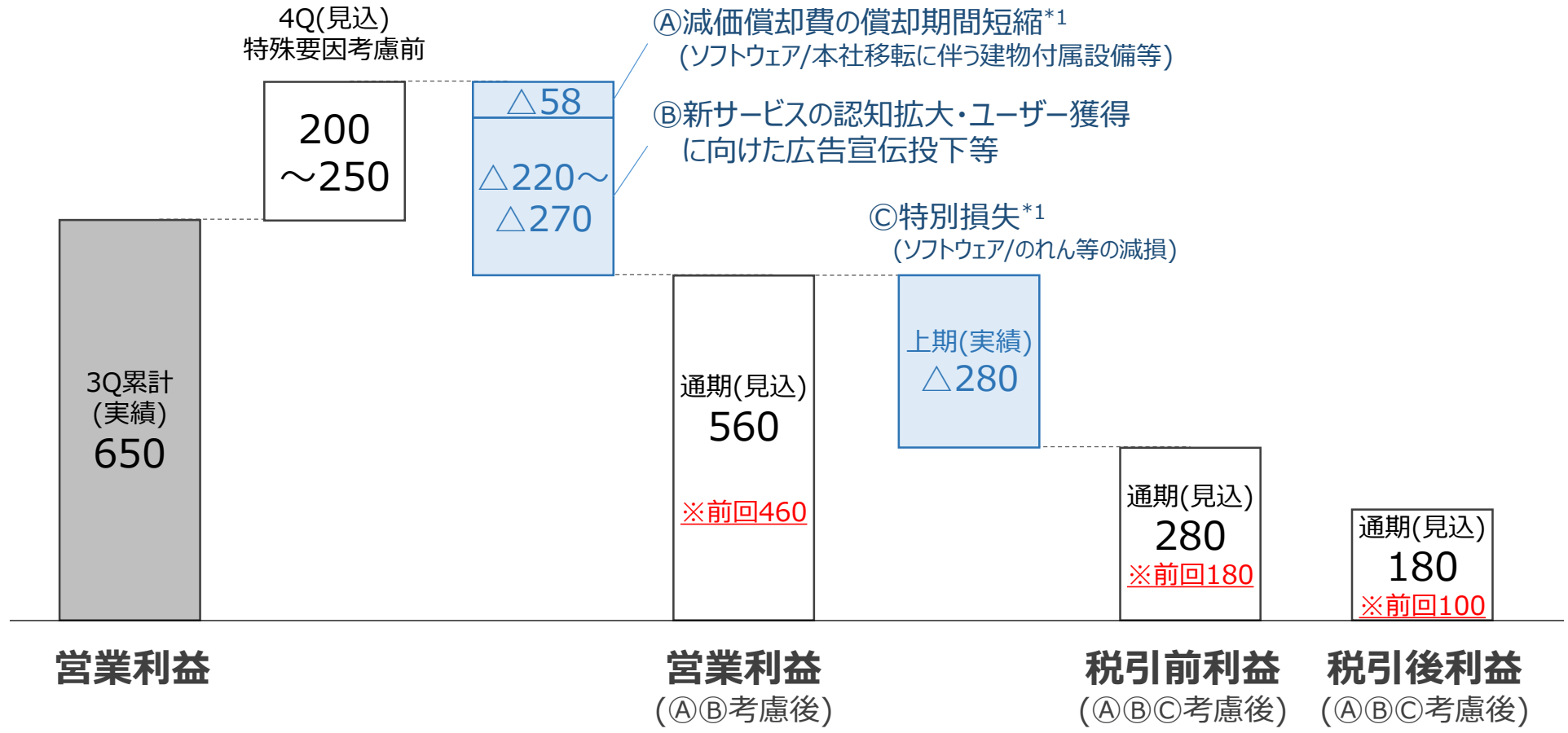
	2018年度2Q (単体)	2018年度3Q (単体)	増減率	備考
<b>資産</b>	6,071	<b>6,085</b>	+0.2%	
現金及び預金	3,122	<b>2,947</b>	△5.6%	出版社等への支払サイクルの影響
売掛金	1,236	<b>1,497</b>	+21.1%	売上高増による影響
<b>負債</b>	2,764	<b>2,622</b>	△5.1%	
買掛金	1,716	<b>1,715</b>	△0.1%	
<b>純資産</b>	3,306	<b>3,462</b>	+4.7%	
資本金	860	<b>866</b>	+0.7%	新株予約権の一部行使
資本剰余金	1,146	<b>1,152</b>	+0.5%	新株予約権の一部行使
利益剰余金	1,264	<b>1,408</b>	+11.4%	四半期純利益増加による
自己株式	0	<b>0</b>	—	

(単位：百万円)

	2018年度3Q 累計期間(実績)	2018年度通期 (10/26修正)	2018年度通期 (今回修正*1)	増減率
売上高	10,231	13,500	 14,000 上方修正	+3.7%
営業利益	650	460	 560 上方修正	+21.7%
営業利益率	6.4%	3.4%	4.0%	
経常利益	648	460	 560 上方修正	+21.7%
経常利益率	6.3%	3.4%	4.0%	
税引前当期純利益	377	180	 280 上方修正	+55.5%
当期純利益	238	100	 180 上方修正	+80.0%

好調だった3Qを受けて、各指標の通期予想を上方修正  
(4Qは新サービスの広告宣伝等の強化により四半期で営業赤字を見込む)

(単位：百万円)



\*1: 詳細につきましては、2018年10月26日公表のプレスリリースをご参照ください。

**1** 第3四半期 業績

**2** 第3四半期 施策・トピックス

**3** 今後の計画

**4** 参考資料

## 2 3Q施策・トピックス | Yahoo!ブックストアとebookjapanのサービス統合

ヤフーグループ内における電子書籍サービスの重複解消を目的に、2つの電子書籍サービスを2019年春以降に「ebookjapan」へ統合

これまで

**ebookjapan**<sup>\*1</sup>  
INITIATIVE

当社サービス

**YAHOO!** ブックストア  
JAPAN

ヤフーサービス

これから  
(2019年春以降に統合予定)

 **e b o o k**  
japan

ヤフーサービス  
(ヤフーと当社が協力して運営\*2)

\*1 既存ユーザーの混乱を避けるため、当面は既存サイト「eBookJapan」も並行運用予定

\*2 2018年3月に締結した業務提携契約に基づき、ヤフーと当社がそれぞれの強みを活かした役割分担により運営

## 2 3Q施策・トピックス | Yahoo!ブックストアとebookjapanで本棚連携開始

ebookjapanへの円滑な移行に向けて、サービスを横断した本棚連携機能をリリース(12/20)

2019年春

**Yahoo!ブックストア** は **ebookjapan** に  
生まれ変わります

※Yahoo! JAPAN IDでログインするだけですぐにお使いいただけます

Yahoo!ブックストアのあなたの本が  
ebookjapanでもお読みいただけます

お手続きは簡単！  
お使いのYahoo! JAPAN IDで  
ログインするだけ



「Yahoo!ブックストア」で過去に購入した  
電子書籍が「ebookjapan」で閲覧可能に！  
(Webサイト、アプリいずれでも閲覧可能)

新たな会員登録は不要で、  
お手持ちの Yahoo! JAPAN ID で  
ログインするだけ

決済情報の再登録も不要！\*  
\*Yahoo!ウォレットでクレジットカード登録している場合

Tポイントも引き続き使えて、貯まる！



## 2 3Q施策・トピックス | 「Yahoo!ショッピング」月間ベストストアを受賞

当社が運営するオンライン書店(紙書籍)が、「Yahoo!ショッピング(本、雑誌、コミック部門)」にて、2018年11月度の月間ベストストア1位・2位を獲得

**YAHOO!** ショッピング  
JAPAN

月間ベストストア 「本、雑誌、コミック部門」  
2018年11月度



1位

「bookfanプレミアム」



2位

「bookfan@Yahoo!店」



## 2 3Q施策・トピックス | 電子書籍に著者サインがもらえる「eBookサイン会」を開催

購入した電子書籍に著者オリジナルサインがもらえる「eBookサイン会」を定期開催(2017年9月～)

**「eBookサイン会」とは？** … 購入した電子書籍に著者のオリジナルサインがもらえるサイン会イベント

- 参加条件 : 期間中に対象書籍を購入し、専用ページから応募した方
- 特典(当選者) : 著者サイン入り描き下ろしイラスト(キャラクターのリクエスト可 + 自分の名前入り)
- 特典(参加者全員) : 著者サイン入り描き下ろしイラスト(全員共通のイラスト)

ネット環境があれば  
遠方でも参加可能！

購入書籍が、世界でただ1冊の、  
自分だけの電子書籍に！

著者にイラストのキャラクターを  
リクエストすることも可能！

### ■「美内すずえ先生 eBookサイン会」(2018年10月開催)



本企画向けに  
著者が直筆で描き下ろし！

1 第3四半期 業績

2 第3四半期 施策・トピックス

3 今後の計画

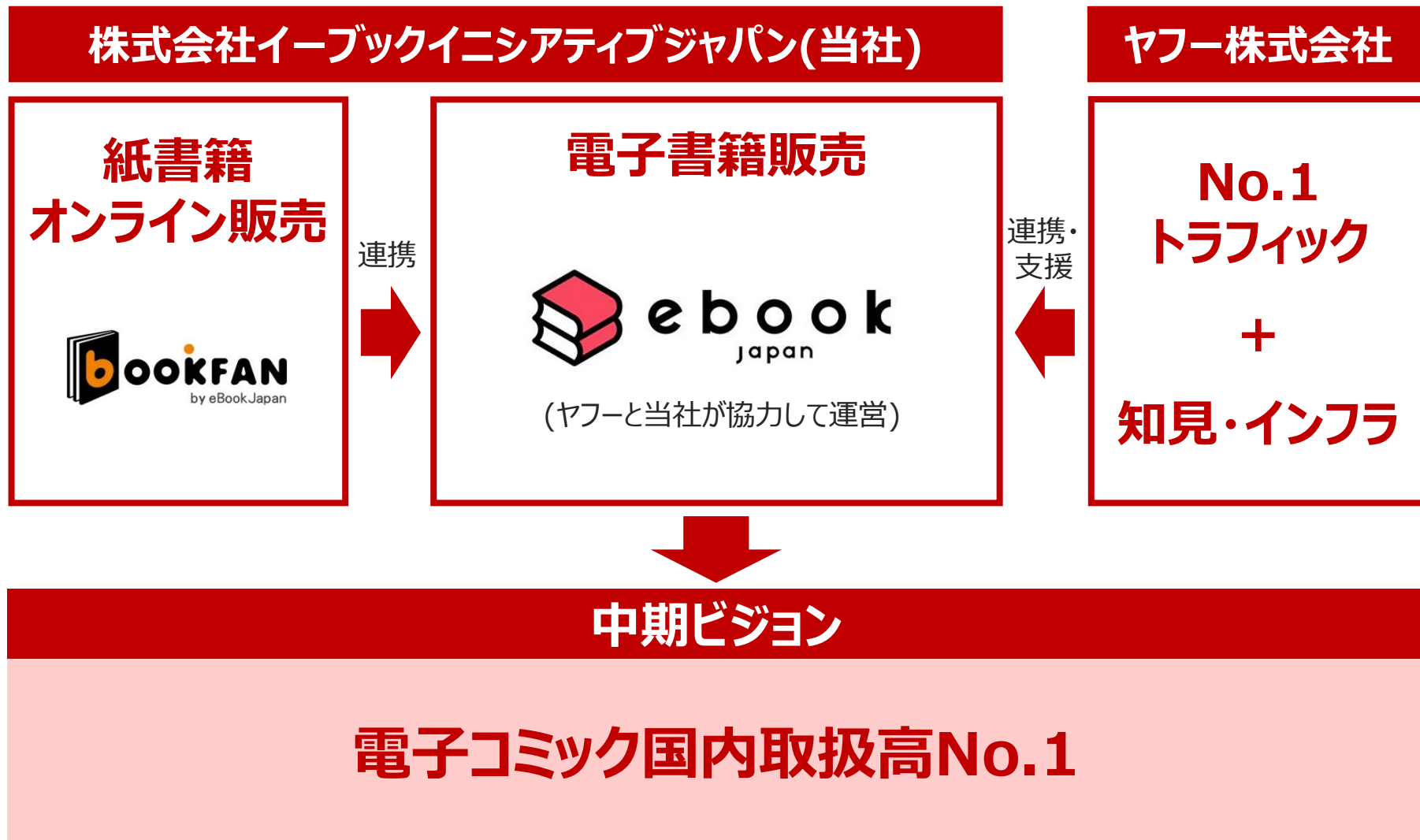
4 参考資料

# 日本の豊かな出版文化で 世界中を幸せにする



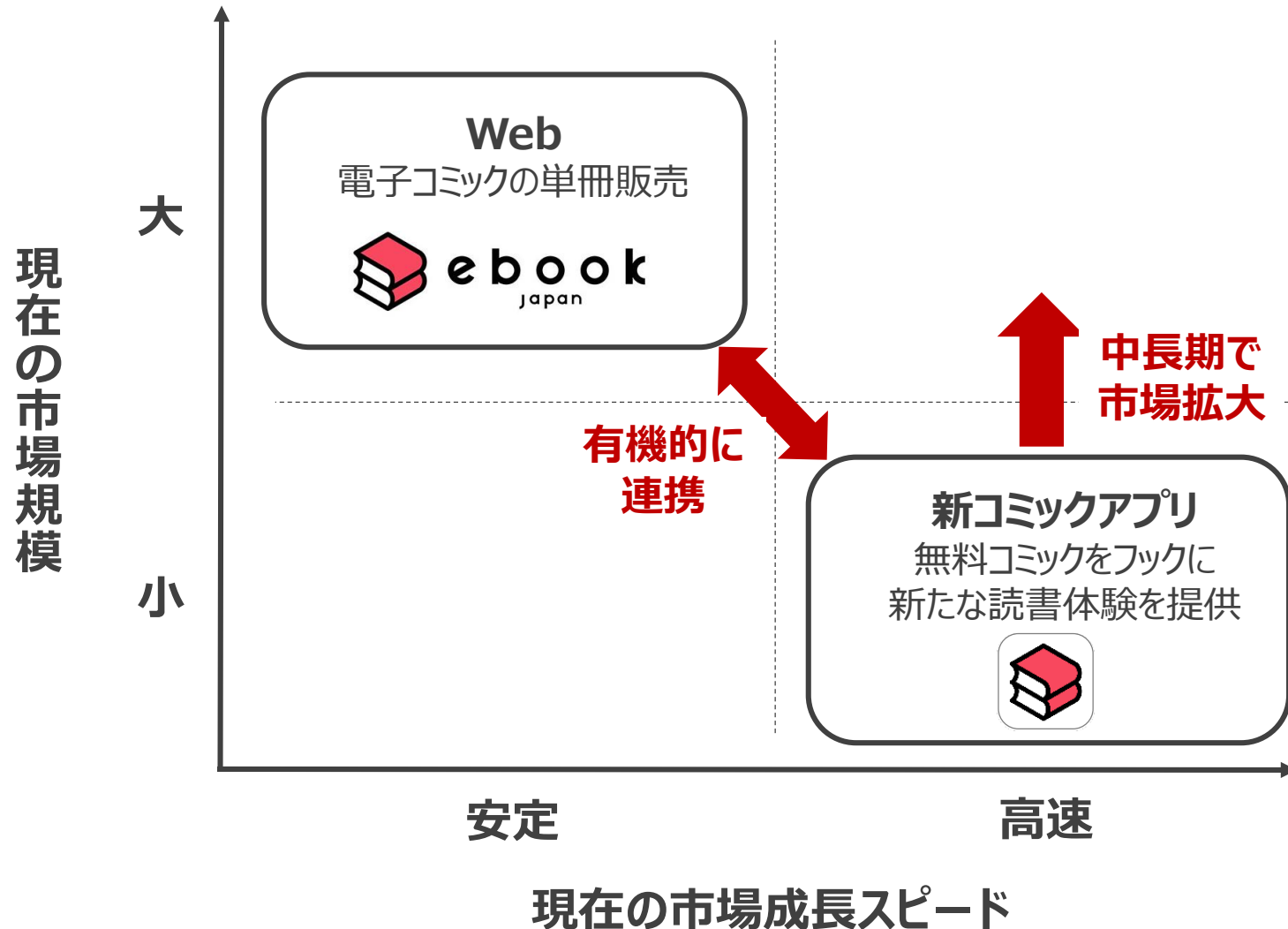
### 3 今後の計画 | 中期ビジョン

ヤフーのバックアップを受けつつ、サービスを飛躍的に発展させ、「電子コミック国内取扱高No.1」を目指す








### 3 今後の計画 | 今後の事業展開イメージ

既存のコミック単冊販売で確実に地歩を固めつつ、成長市場であるアプリ市場に進出し、ユーザーに新たな読書体験を提供していく



(単位：百万円)

	2018年度3Q 累計期間(実績)	2018年度通期 (10/26修正)	2018年度通期 (今回修正*1)	増減率
売上高	10,231	13,500	 14,000 上方修正	+3.7%
営業利益	650	460	 560 上方修正	+21.7%
営業利益率	6.4%	3.4%	4.0%	
経常利益	648	460	 560 上方修正	+21.7%
経常利益率	6.3%	3.4%	4.0%	
税引前当期純利益	377	180	 280 上方修正	+55.5%
当期純利益	238	100	 180 上方修正	+80.0%

好調だった3Qを受けて、各指標の通期予想を上方修正  
(4Qは新サービスの広告宣伝等の強化により四半期で営業赤字を見込む)

**1** 第3四半期 業績

**2** 第3四半期 施策・トピックス

**3** 今後の計画

**4** 参考資料

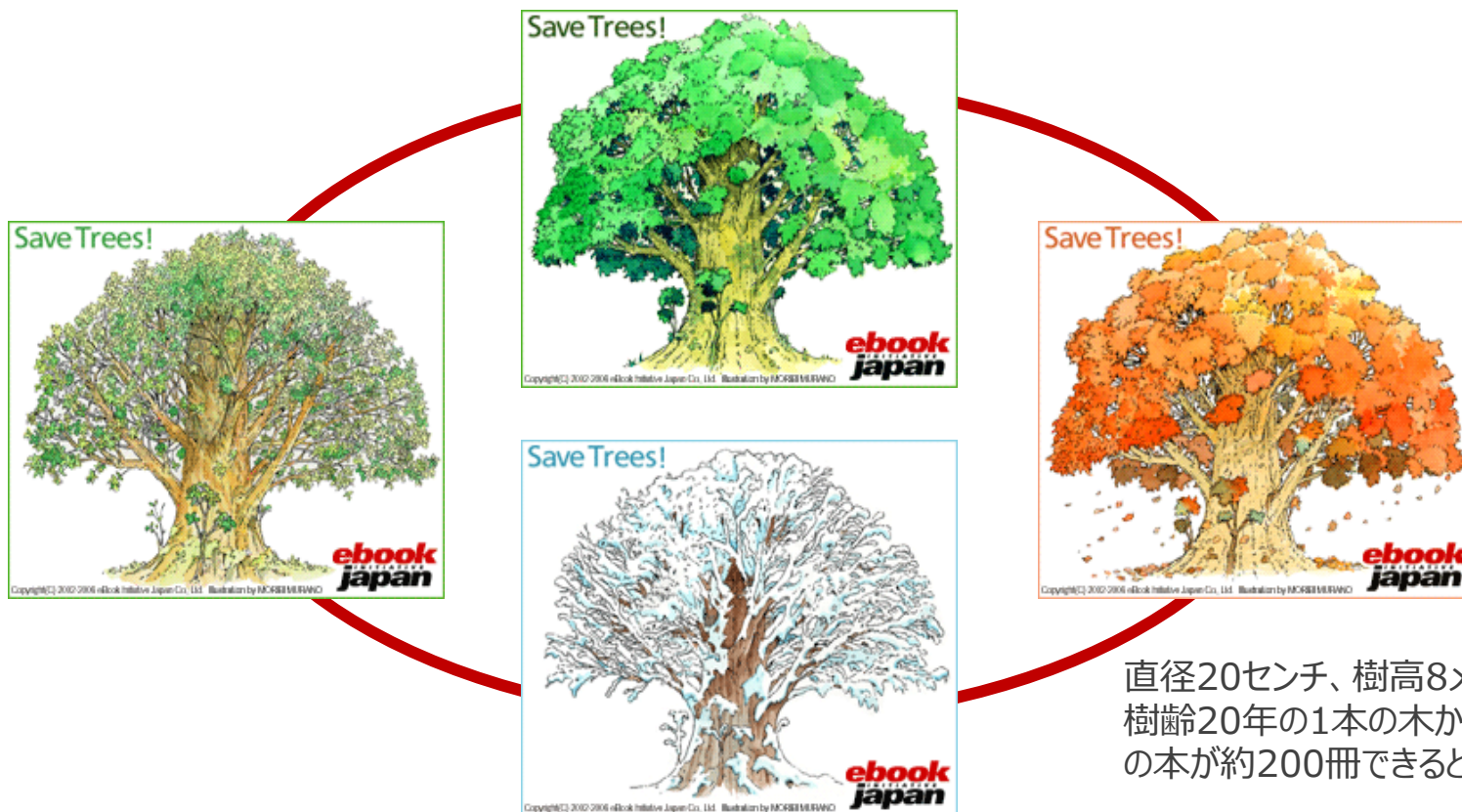


**株式会社イーブックイニシアティブジャパン**  
**eBOOK Initiative Japan Co., Ltd.**

項目	内容
設立	2000年5月17日
本社	東京都千代田区神田駿河台2-9 KDX御茶ノ水ビル 代表電話：03-3518-9544
マザーズ上場日	2011年10月28日（証券コード：3658）
市場第一部上場日	2013年10月28日（証券コード：3658）
事業内容	電子書籍事業（電子書籍配信、電子書籍提供）、クロスメディア事業
代表者	代表取締役社長 小出 斉
資本金	866,904千円（2018年12月末日現在）
決算期	3月31日
主要取引先	出版社、編集プロダクション、決済代行会社、システム開発会社、 ISP、ポータル、キャリア、デバイスメーカー
役職員数	188名（2018年12月末日現在）
ウェブサイト	<a href="http://www.ebookjapan.jp/e bj/">http://www.ebookjapan.jp/e bj/</a>

## 4 参考資料 | 創業理念 : Save Trees!

創業者が出版社勤務時代に、大量の返本の山が断裁・焼却処分されることに地球環境への危惧を抱いたことが、当社の創業に至ったきっかけです

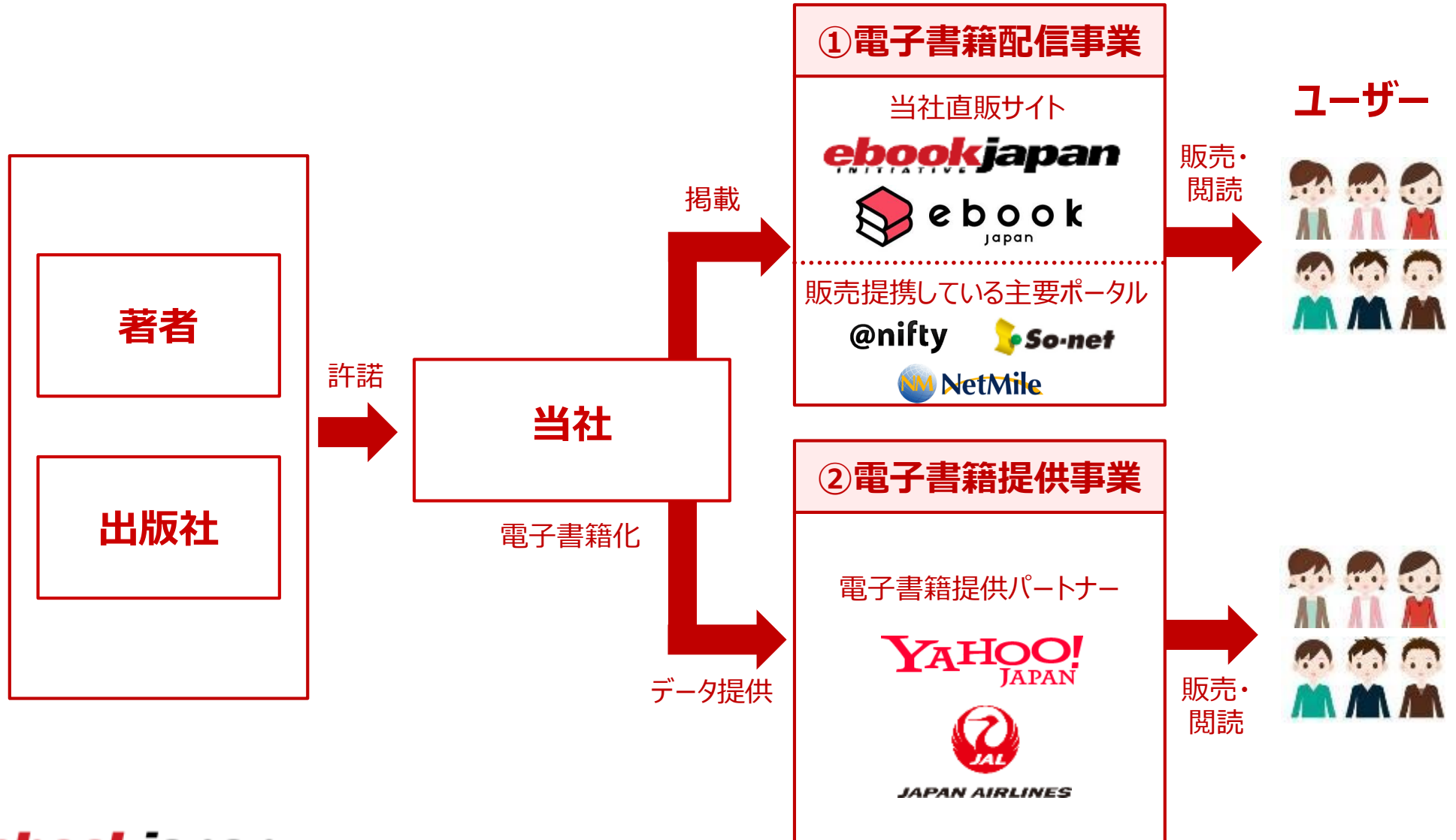


直径20センチ、樹高8メートルに育った、樹齢20年の1本の木から、1冊300グラムの本が約200冊できるといわれます

**当社はこれまで19年間で累計 1億冊以上の電子書籍を販売し、54万本以上の木を救ってまいりました。**

## 4 参考資料 | ビジネスモデル

著者/出版社から許諾を受けた作品を電子書籍化し、直販、または協力各社を通じてユーザーに販売



## 品揃え

- マンガの品揃えが世界最大級
- 電子書籍作品総数でも業界トップクラス！
  - 雑誌、児童書、学術書も拡充
- 紙書籍・雑誌が購入可能に！

## 使い易さ

- 背表紙表示や蔵書のフォルダー管理
- マンガ好きも納得の高画質フォーマット
- 即読みダウンロード対応
- ブラウザでも、オフライン（アプリ）でも読める
- 多くの支払い手段に対応

## サービス

- まとめ買い機能で簡単に“大人買い”
- 新刊オート便で一番に読める
- 著名人やスタッフによるレビュー
- 趣向を凝らした様々な特集企画
- パートナー企業に書店機能を“まるごと”提供可能

# 4 参考資料 | 当社の強み①：品揃え

定番の名作から新作まで、電子書籍ラインナップが充実

	～1990's	2000's	2010's	
男性マンガ				
女性マンガ				
その他				

## 4 参考資料 | 当社の強み②：使い易さ

読書好きが集まっているからこそ、ユーザーの視点に立った蒐集欲をかき立てるサービス

好みに合わせて、お気に入りの表示モードが選択可能

背表紙表示モード



サムネイル表示モード



リスト表示モード



- ✓ 購入した電子書籍は、電子書籍閲覧ソフトやネット上のクラウド本棚に保管できます。
- ✓ 背表紙表示、サムネイル表示、リスト表示と利用者の好みに応じて表示形式の変更が可能です。
- ✓ 特に背表紙表示は、蒐集欲をかき立てるデザインとなっています。

## 4 参考資料 | 当社の強み③：サービス

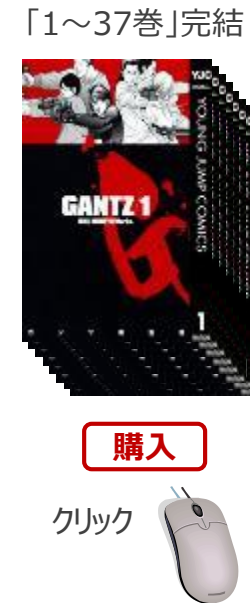
まとめ買いでお得に購入

単巻毎に購入（多くの電子書店の場合）



37回購入手続きが必要

まとめ買い（当社の場合）



1回クリックするだけ！！

まとめ買いの場合は、ポイントアップでさらにお得！

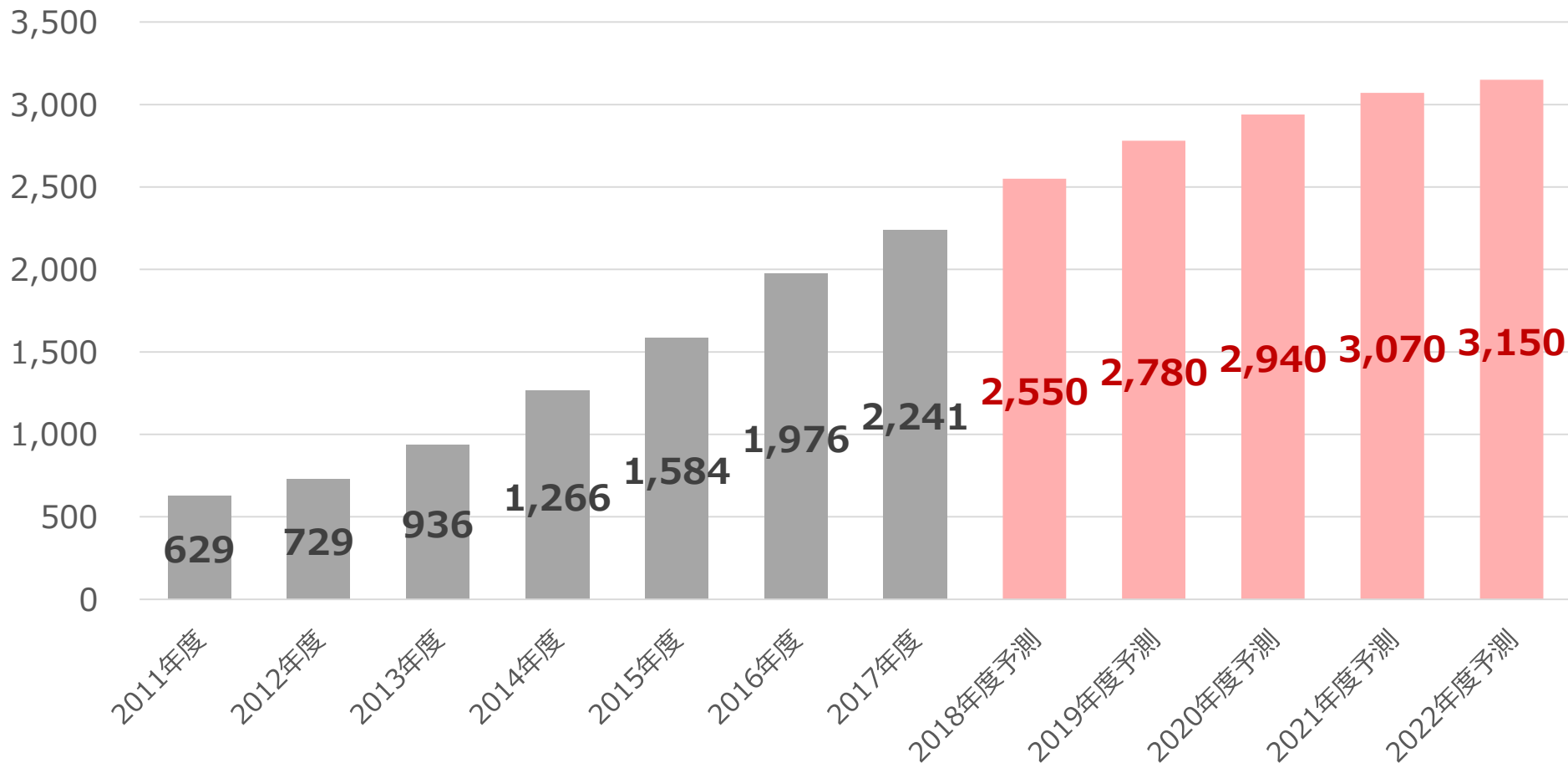
まとめ買いサービスの充実により、購入者の1人当たり月額平均購入額5,000円を実現！

## 4 参考資料 | 電子書籍業界の市場規模

電子書籍の市場規模は今後も順調に拡大し、5年後には3,000億円超にまで成長する見込み

(単位：億円)

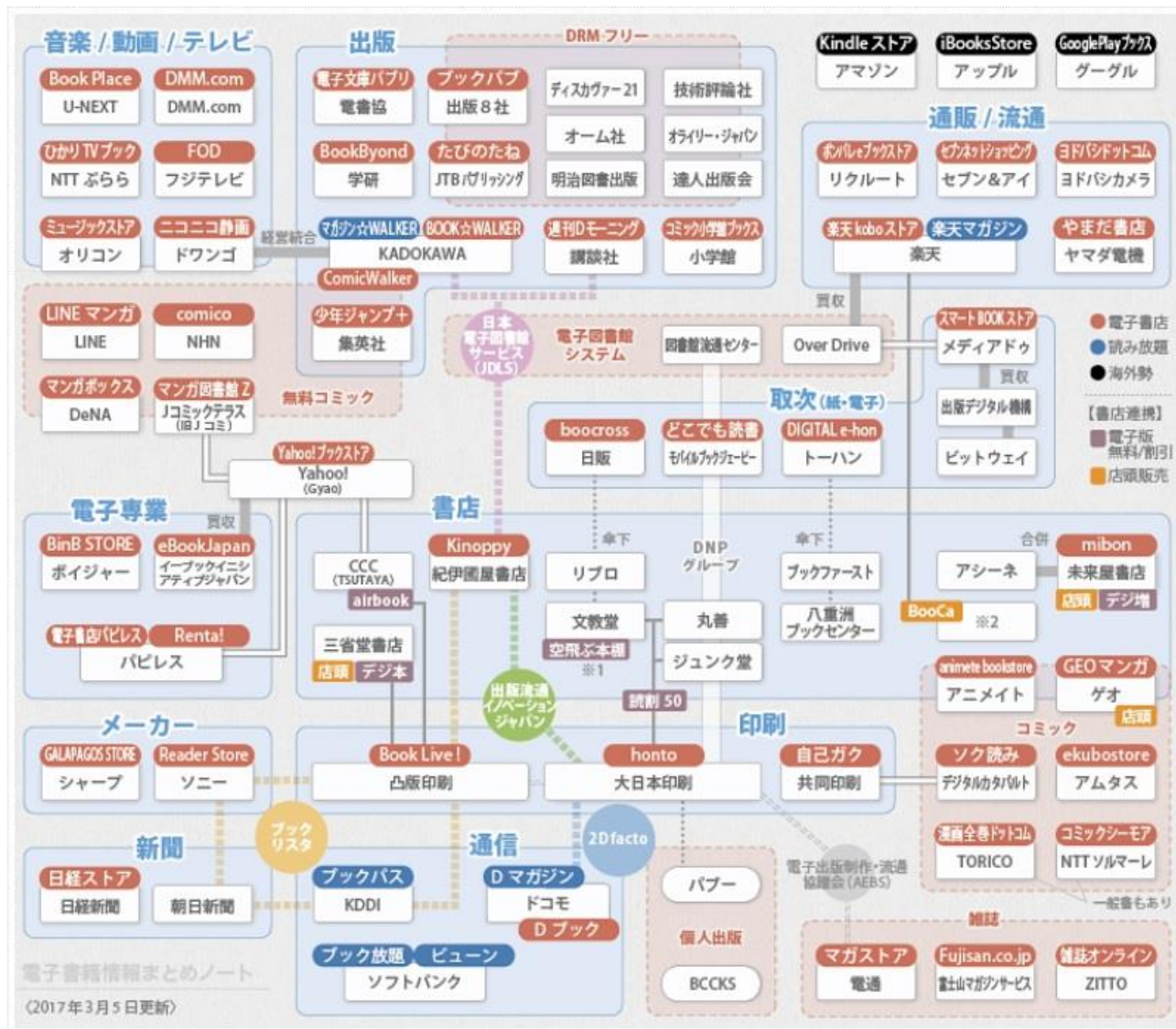
### 電子書籍市場予測





# 4 参考資料 | 競争環境

様々な領域から新たなプレイヤーが参入



- 本資料は、これまでの業績および事業計画に関する情報の提供を目的として、当社が作成したものです。
- 本資料に掲載されている将来の見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因の変化等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。
- 投資に際しては、当社が公表している各種資料およびホームページ、またEDINETに開示している情報をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなされるよう、お願い致します。
- なお、本資料は電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送・転載等はできません。